

姫路市生涯現役推進計画 アクションプラン事業 進捗状況

(令和4年3月末現在)

施策(大分類)	総合評価				新型コロナウイルス の影響により未実施 ※	事業総数
	A評価	B評価	C評価	D評価		
1 健康づくり	4	13	0	0	1	18
2 役割創出・社会貢献	13	15	0	0	2	30
3 学習・社会参加	15	16	0	0	0	31
計	32	44	0	0	3	79
割合(%)	40.5%	55.7%	0.0%	0.0%	3.8%	100.0%

事業数は再掲を除く。ただし、事業の内容、指標／目標値が異なる場合は、それぞれ計上。

【評価方法について】

5つの評価項目(①数値目標等達成率、②事業の参加者、利用者、受益者等の満足度、
③生涯現役推進への配慮、④情報技術の活用の有無、⑤多世代交流の有無)の評価を踏まえ
各事業を生涯現役の視点からA～Dの4段階で総合的に評価

A:十分達成できた B:おおむね達成できた

C:あまり達成できなかった D:まったく達成できなかった

※ 新型コロナウイルスの影響により事業未実施のものは評価できないため別欄に記載した。

1 健康づくり

(1) 健康づくりの機会・場の充実【重点施策・健康増進事業】

① 運動する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度)目標値 又は達成目標	担当課
			指標／目標値 又は達成目標	実績値 又は達成状況	内容				
1	高齢者スポーツ大会の開催	姫路市老人クラブ会員を対象に、スポーツ大会を開催する。	出場校区率	99%	—	新型コロナウイルス感染防止対策として中止。	—	—	生涯現役推進室
2	生涯現役体操教室の実施	年齢や体力を問わず、気軽に身体を動かせる「生涯現役ガンバルンパ体操」や、さまざまな運動を行う教室を開催する。	定員充足率	100%	69%	・普及啓発用DVDの制作・配布 ・普及啓発用パンフレットの制作・配布(在庫があるため今年度は発注しなかった) ・各種講座・イベントでのデモンストレーション(計2回) ・ガンバルンパ体操 & サプライズ健康教室の開催(計15回、参加者のべ362人)	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響で教室が数回中止となり実績値は低かったが、パンフレット・DVD等の配布は好評であり、講師の努力などで健康教室参加者の満足度は高い。高齢者の健康づくりに資するものである。	生涯現役推進室
3	市民歩こう会の実施	市内各ブロックで歩こう会を開催する。	参加者数	400人	274人	市内4ブロックで実施(2ブロックは新型コロナウイルス感染症の影響で中止)	B	各ブロック共に子どもから高齢者まで幅広い年代が参加しており、健康面だけでなく年代を超えた地域のコミュニケーションの推進にも繋がっている。	スポーツ振興室
4	地域スポーツ振興事業の実施	各校区スポーツクラブ21の地域スポーツ振興事業部門が中心となり、各種イベントを実施する。	実施校区数	71校区	70校区	スポーツクラブ21に事業の実施を委託し、1校区を除くすべての校区(68小学校区70クラブ)で実施した。	A	歩こう会やベタング等老若男女問わず参加できるスポーツイベントを各校区のニーズに合わせて開催することにより、各校区で多くの参加者を得るとともに、校区住民の交流を深めることができた。	スポーツ振興室
5	地域スポーツクラブの活動支援	各校区スポーツクラブ21で構成された姫路市スポーツクラブ21協議会を通じて、クラブ相互の交流事業を行う。	交流大会の参加者数	1,000人	554人	各校区スポーツクラブ21で構成された、姫路市スポーツクラブ21協議会を通じて、クラブ相互の交流事業などを行った。	B	各ブロックで特色に応じたスポーツイベントを行うことで、より多くの参加者に、より身近にスポーツに触れ合う機会を作ることができた。	スポーツ振興室
6	各種体育施設・健康づくり施設の運営	市民が各自の年齢や体力に応じ、気軽に健康づくりに取り組める施設を運営する。(網干健康増進センター、すこやかセンター、夢前福祉センター、総合スポーツ会館等)	利用者数(網干健康増進センター(健康づくり施設))	100,000人	103,270人	新型コロナウイルスの影響による休館等を行ったが、利用者数は前年度と比較し、約1万7千人増加した。	A	目標値を達成し、前年度よりも約1万7千人増加した。	エコパークあぼし(網干健康増進センター)
7			利用者数(すこやかセンター(健康づくり施設))	179,000人	87,248人	・管理及び運営、・サービスプログラム内容の充実、自主事業の充実を図った。	B	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための休館や開館時間の短縮、利用人数の制限等により利用者は減少したものの、利用者の評価は概ね好評であった。	保健福祉政策課(すこやかセンター(健康づくり施設))
8			利用者数(夢前福祉センター(健康づくり施設))	60,000人	37,737人	【利用実績】 トレーニングジム：293日 プール：232日 (施設総利用者数) 36,023人 (健康施設利用者数) 37,737人 ※延人数 広報、アンケート実施	B	今年度も新型コロナの影響により利用者が減少しているものの、施設において休止していたサービスプログラムを再開するなど、コロナ前の状況に戻りつつある。引き続き感染症対策に配慮しつつ、利用者回復に努めたい。	高齢者支援課(夢前福祉センター(健康づくり施設))
9			利用者数(総合スポーツ会館等30施設)	1,100,000人	970,489人	新型コロナウイルスの影響により休館・時間短縮による営業となったこと、再開後も各大会が中止となる等の理由により通常時までの利用者数の水準まで回復しなかったことにより目標値を下回る結果となった。	B	新型コロナウイルスの影響を受ける前は年々利用者が増加し、平成30年度には目標値を達成していた。利用者の満足度については比較的高い評価を受けており、運動する機会・場の充実に大きく寄与したものである。	スポーツ振興室(総合スポーツ会館他30施設)
10	市民会館・地区市民センターの運営	教養講座(健康づくり・音楽・芸術等)の開設や貸館業務など、地域のコミュニティ施設として、市民会館・地区市民センターを運営する。	利用率	55%	52.60%	各種教養講座のPRや指定管理者における自主事業の実施により、利用者数の確保に努めた。 また、外壁改修・大ホール床板改修(網干)や大ホール天井耐震改修(東)等により、快適で安全な施設整備を実施した。	B	目標数値を概ね達成することができた。また利用者の満足度も高かった。	生涯現役推進室

② 科学的知見に基づいた健康づくり

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度)目標値 又は達成目標	担当課
			指標／目標値 又は達成目標	実績値 又は達成状況	内容				
11	シニア健康づくり事業の実施	市内大学や民間企業等と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラム講座の開催や健康づくりイベント等を開催する。	市内大学や民間企業等と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラム講座の開催や健康づくりイベント等を開催する。	市内大学と連携し、科学的知見に基づく体操を研究した。	市内大学と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラムを考案、検証した。(高等教育室の大学発まらづくり研究助成事業を利用)研究予備実験(データ収集)報告書・DVDで報告を受ける。	B	シニア世代が楽しみながら健康づくりに取り組む様子が伺えた。	市内大学や民間企業等と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラム講座の開催や健康づくりイベント等を開催する。	生涯現役推進室

(2) 健康づくりに取り組む人への支援【重点施策・健康増進事業】

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度)目標値 又は達成目標	担当課
			指標／目標値 又は達成目標	実績値 又は達成状況	内容				
12	介護予防普及啓発事業の実施	地域において高齢者がいつまでも元気であること(介護予防)の必要性に関する講演会や体の衰えに対する相談会を開催する。	講演会・相談会の開催回数(いきいき百歳体操を除く。)	600回	243回	・保健センター等による講演会・教室及び相談会等の開催。 ・地域包括支援センターによる講演会・教室及び相談会等の開催。	B	目標値に達成は難しかったが、コロナ禍でも高齢者の集まる機会を活用し普及啓発に取り組むことができた。	地域包括支援課
13	健康増進のための啓発・教育・相談の充実	適切な食生活や運動、禁煙、口腔の手入れ、フレイル予防等、望ましい生活習慣についての知識を普及させるため、健康教育や健康相談を実施する。	健康教育の実施回数	110回	85回	集団健康教育85回 新型コロナウイルスの影響により、健康教育の開催中止や実施計画ができなくなり、昨年度同様実施回数が少な	B	新型コロナウイルスの影響で健康教育の実施回数が少なかったが、生活習慣病予防やフレイル予防・介護予防など、生涯現役につながる内容を啓発することができた。	保健所健康課

② 健康づくりの担い手への支援

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度)目標値 又は達成目標	担当課
			指標／目標値 又は達成目標	実績値 又は達成状況	内容				
14	食生活改善ボランティアリーダーの養成	姫路いずみ会のリーダー養成の講習会を開催する。	受講者数	20人	16人	・開催回数 8回※6月はコロナの為中止、2月→3月に延期して実施 ・参加者 16人	B	教室受講前後のアンケートより、食生活が良くなったと回答した者が88%を占めた。食生活の自己評価は62点から77点へ上昇、栄養表示や食事バランスガイドの認識率は80%以上で健康知識の習得に繋がっており、行動変容も見込まれる。	保健所健康課
15	スポーツ指導者養成講習会の開催	地域においてスポーツを推進する指導者を対象とした講習会を開催する。	受講者数	550人(R3～R8累計)【R3:50人、R4～R8:100人】	145人	アジャタ体験講習会 58人 ポッチャ体験講習会 53人 ボールウォーキング体験講習会 34人	A	講習会後は用具の購入方法や貸与について問い合わせがあり、生涯スポーツへの興味を引き出せたと考えられる。	550人(R3～R8累計) スポーツ振興室
16	高齢者の自主的な健康づくり活動への支援	「いきいき百歳体操」を住民に提案し、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動を実践できるよう支援する。	自主活動グループ数	いきいき百歳体操グループ数 495グループ	いきいき百歳体操グループ数 470グループ	介護予防に取り組む自主グループの立ち上げ・継続支援を実施した。	B	コロナ禍で活動が自粛される状況ではあったが、地域包括支援センターと保健センターが立ち上げ支援・継続支援に取り組んでおり、総合的に判断すると概ね目標は達成できた。	地域包括支援課 保健所健康課

③ 活動資金の支援

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
17-1	老人クラブ活動への助成	老人クラブが実施するさまざまな活動に対し助成を行う。 ※健康増進活動のみ抜粋	助成校区率(生涯現役地域活動助成事業のうち、健康増進事業)	55%	34.6%	健康増進活動 対象:18校区 助成額:1,187,515円	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、恒例イベント等の中止により目標値を下回ったが、事業参加者の満足度は高く、高齢者同士の交流や健康維持に努めることができた。	生涯現役推進室

(3) 健康づくりに関する意識啓発

① 情報提供や意識啓発

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度)目標値 又は達成目標	担当課
			指標／目標値 又は達成目標	実績値 又は達成状況	内容				
18	地域放送メディアや動画配信を通じた運動講座の実施	ケーブルテレビやインターネット動画配信を通して、高齢者向けの運動を紹介し、高齢者が自主的に健康づくりに取り組めるように支援する。	高齢者向けの運動番組を毎日放送し、多くの人が自主的に健康づくりに取り組んでいる。	多くの人が自主的に健康づくりに取り組めるよう、高齢者向けの運動番組を毎日放送した。	ケーブルテレビやインターネット動画配信を通して、高齢者向けの運動を紹介し、高齢者の自主的な健康づくりへの取り組みを支援した。	A	メディアを通じた生涯現役の意識啓発として上手く機能しており目標を達成できた。	高齢者向けの運動番組を毎日放送し、多くの人が自主的に健康づくりに取り組んでいる。	生涯現役推進室
再掲	介護予防普及啓発事業の実施 ※No.12再掲	地域において高齢者がいつまでも元気であること(介護予防)の必要性に関する講演会や体の衰えに対する相談会を開催する。	講演会・相談会の開催回数(いきいき百歳体操を除く。)	600回	243回	B	目標値に達成は難しかったが、コロナ禍でも高齢者の集まる機会を活用し普及啓発に取り組むことができた。	750回	地域包括支援課
再掲	健康増進のための啓発・教育・相談の充実 ※No.13再掲	適切な食生活や運動、禁煙、口腔の手入れ、フレイル予防等、望ましい生活習慣についての知識を普及させるため、健康教育や健康相談を実施する。	健康教育の実施回数	110回	85回	B	新型コロナウイルスの影響で健康教育の実施回数が少なかつたが、生活習慣病予防やフレイル予防・介護予防など、生涯現役につながる内容を啓発することができた。	110回	保健所健康課

2 役割創出・社会貢献

(1) 社会貢献活動の機会・場の充実

① ボランティア活動の機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度)目標値 又は達成目標	担当課
			指標／目標値 又は達成目標	実績値 又は達成状況	内容				
19	見守りウォーキングの実施	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用する。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上させた。	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用した。	A	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」を行うことにより、自身の健康増進や地域の見守り力向上に貢献している	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	危機管理室
20	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためのボランティア活動の充実	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるように「あんしんサポーター」がボランティア活動を行う。	あんしんサポーター登録者数	396人 (学生抜き登録者数)	405人 (学生抜き登録者数)	B	コロナ禍の影響から実績は伸び悩んでいるが、情報技術の活用などの進展があった。	900人	地域包括支援課
21	スクールヘルパー制度の推進	地域ボランティア「スクールヘルパー」が登下校時の声かけ、校内巡回等の活動を行う。	登録者数	16,000人	17,440人	A	登録者数が児童数減に伴い減ることを予測していたが、予測を大きく上回る結果となった。地域の方々の継続的な協力によるものと考えられる。しかしながらボランティアの高齢化による課題は残る。	15,000人	健康教育課

22	各種ボランティアの活用(観光、国際交流、文化振興、美術館、文学館)	市が実施する事業・イベントに協力するボランティアを募集・活用する。	登録者数	900人	873人	令和3年度のイベントボランティアの募集は行っていない。また、「おもてなし研修」他も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、有観客やコロナ禍以前の規模でのイベント開催が難しく、ボランティアの活動が出来ない1年となったが、登録者数に対しての目標達成率は十分達成出来た。	950人	観光推進課
23-1			ボランティア登録人数・養成講座参加人数	1,400人	343人	日本語学習支援ボランティア養成講座開催、ひめじ国際交流フェスティバル開催(R3は新型コロナウイルスの影響により開催中止、代替イベントとして写真展を実施)、通訳翻訳ボランティア、ホストファミリーボランティア等随時募集	B	新型コロナウイルスの影響により数値目標を達成できなかったものの、あらゆる世代の方々にボランティア等に参加・登録していただくことができた。	1,400人	文化国際課(国際交流)
23-2			ボランティア登録人数	50人	0人	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、文化イベントの中止や延期のため文化ボランティアの募集は見送った。			50人	文化国際課(文化振興)
24			ボランティア活動の満足度を高め、美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動している。		コロナの影響で活動の休止や縮小となったが開催時には、感染防止対策をとりボランティアリーダーを中心に美術館ボランティアが美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動できた。	登録ボランティアが新規の班を加え9つの班に属して、前年度実績をベースに活動を行う。また、新規登録者募集を推進した。			ボランティア活動の満足度を高め、美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動している。	美術館総務課
25			1月あたりのボランティア活動人数(延べ)	70人	57人	発送作業、行事受付などの活動のほか、イベントの運営やワーキンググループ活動等を実施	B	ボランティアとのコミュニケーションを密にし、活動内容や方法についての改善を細やかに繰り返しながら、過大な負担をかけることなく学びと活躍の機会の充実に努めた。	70人	姫路文学館学芸課

(2) 社会貢献活動に取り組む人への支援【重点施策・役割就労事業】

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
26	市民活動に関する相談機能の充実	ボランティアやNPO活動に関する相談を受け、活動への参加機会の拡充を図る。	相談件数	340件	255件	市民活動・ボランティアサポートセンター職員が、NPO法人、ボランティア団体等を中心とした市民活動に関する相談に対して個別・具体的に対応した	B	コロナの影響で令和2年度の実績件数が少なかったものの、市民活動・ボランティアサポートセンターでのボランティア活動に関する相談について個別・具体的にに対応できた	410件	市民活動推進課
27	生涯現役推進専門員の配置	生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員を配置する。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えた。	・相談業務の実施(年間113件) ・情報の収集・発信 ・生涯現役人材バンクの運営	A	高齢者の多様なニーズに応えることに努め、本来の趣旨である高齢者の生涯現役に資することができた。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。		生涯現役推進室

② 活動への参加促進

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
再掲	見守りウォーキングの実施 ※No.19再掲	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用する。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。		登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上させた。	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用した。	A	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」を行うことにより、自身の健康増進や地域の見守り力向上に貢献している	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	危機管理室
28	市民活動に関する講座・研修会の開催	市民活動に対する啓発や参加促進を目的とした講座・研修会を実施する。	受講者数	90人	96人	各種講座・研修会等の実施(年5回)	A	内容的に充実し、目標人数にも達した	120人	市民活動推進課
29	地域の新しい担い手づくりの推進	自ら地域課題を見つけ、解決する力を持つ「新しい担い手」を養成するための講座等を開催する。	受講者数	30人	41人	定年後のライフスタイル応援講座 11/13.20.27(毎土) 受講者41人	B	自分らしいライフスタイルの中に地域活動を取り入れることの大切さを伝える内容の講座ができた。	180人 (R3～R8累計)	生涯現役推進室

再掲	食生活改善ボランティアリーダーの養成 ※No.14再掲	姫路いずみ会のリーダー養成の講習会を開催する。	受講者数	20人	16人	・開催回数 8回※6月はコロナの為中止、2月→3月に延期して実施 ・参加者 16人	B	教室受講前後のアンケートより、食生活が良くなったと回答した者が88%を占めた。食生活の自己評価は62点から77点へ上昇、栄養表示や食事バランスガイドの認識率は80%以上で健康知識の習得に繋がっており、行動変容も見込まれる。	20人	保健所健康課
再掲	スポーツ指導者養成講習会の開催 ※No.15再掲	地域においてスポーツを推進する指導者を対象とした講習会を開催する。	受講者数	550人(R3～R8累計) 【R3:50人、R4～R8:100人】	145人	アジャタ体験講習会 58人 ポッチャ体験講習会 53人 ポールウォーキング体験講習会 34人	A	講習会後は用具の購入方法や貸与について問い合わせがあり、生涯スポーツへの興味を引き出せたと考えられる。	550人 (R3～R8累計)	スポーツ振興室

③ コーディネート組織の設置

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
30	個人ボランティア登録制度の実施	ボランティアに関する情報提供を行う個人登録制度を実施する。	登録者数	435人	420人	・ボランティア募集記事を掲載した通信を毎月発送 ・メールニュース配信システムを運用し、ボランティア募集等に関する情報を発信	B	コロナ禍でボランティア活動も制限されていたため、新規登録もさほど増えず、ボランティアメンバーも少なかった	450人	市民活動推進課
31-1	生涯現役人材バンクの設置	長年培った知識や経験、技術を持つ高齢者を登録し、その能力を求める市民とのマッチングを行う。	マッチング件数	80件	17件	・依頼件数 13件 ・マッチング件数 17件 ※1件の依頼で複数回のマッチングあり	B	新型コロナウイルスの影響により目標値を達成できなかった。また、例年、PR活動の場であるひめじおんまつりの中止等により十分なPR活動を実施できなかった。	120件	生涯現役推進室
32	ファミリーサポートセンター事業の充実	子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人を登録し、子育ての援助活動を行う。	60歳以上の提供・両方会員(子育ての援助を行う人)の数	215人	218人	○登録会員数 2,536人・依頼会員 1,716人、提供会員 672人(うち60歳以上218人)・両方会員 148人 ○援助活動件数 3,865件○事業説明会の開催 199回(341人参加) ○講習会、交流会の開催	A	引き続き会員数は少しずつ増えており、実際に活動している会員間(提供会員・両方会員と依頼者・その子ども)の結びつきは強く、双方の満足度は高い。	250人	こども支援課

④ 活動資金の支援

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
33	こども見守り隊への助成	連合自治会等の団体が行う通学路の立番や防犯パトロール等の活動に対し助成する。	助成地区数	73団体	72団体	連合自治会(72地区)などの団体に 対し、15万円を上限に助成し た。 青バトに係る臨時的経費として、 青バトを所有する団体に 対し、5万円を上限に助成した。	A	こども見守り隊は地区連合自治会を中心とした連合体であるが、中でも老人クラブがその中心的な構成メンバーであることが多い。また、児童・生徒への見守り活動を通じ、世代間交流・コミュニケーションの機会にもなっている。	73団体	危機管理室
34	提案型協働事業の実施	市民と行政が協働して行う事業の提案を募集し、選定された事業に対して補助を行う。	高齢者関係の採択件数	2件	1件	4月20日～5月20日 提案募集 6月26日 審査会開催 7月中旬 採択団体決定	B	高齢者が活躍できる事業については、毎年度、一定数の提案があり、関心の高い分野である。本年度は目標値を下回ったものの身近な歴史的資料の作成事業を実施することで、多数の高齢者が活躍された。	12件 (R3～R8累計)	市民活動推進課

⑤ 活動に関する情報提供

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度)目標値 又は達成目標	担当課
			指標／目標値 又は達成目標	実績値 又は達成状況	内容				
35	市民活動団体登録制度の実施	市民活動団体の登録制度を実施し、情報や交流機会を提供する。	登録団体数	390団体	368団体	・印刷室、活動室の利用 ・ボランティア活動に関する情報提供、相談対応、活動PRほか	B	コロナ禍で制限される中、高齢者などに無理のない範囲でできるイベントなどを開催した	市民活動推進課
36	市民活動に関する情報の収集・提供	市民活動に関する情報を収集し、さまざまな媒体を活用して提供する。	市民活動ネットひめじへのアクセス数	12,000件	13,670件	ボランティア活動やNPO活動などの市民活動に関する情報を収集し、様々な媒体を活用して情報発信することで、社会貢献活動への参加の促進を図る。	B	サイトのリニューアルでより使いやすくなった	市民活動推進課
37	生涯現役の推進に貢献している団体の表彰	生涯現役を推進する活動を行っている団体を表彰し、その取組みを全市に広げる。	受賞団体数	4団体	3団体	・姫路市老人クラブ連合会から推薦を受けた校区老人クラブ及び単位老人クラブを表彰	A	数値目標は下回ったが、生涯現役を推進する活動を熱心に行う団体を顕彰し、その活動を他の団体にも広めるという事業の目的は達成できていると考える。	生涯現役推進室

⑥ 老人クラブ活動への支援

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度)目標値 又は達成目標	担当課
			指標／目標値 又は達成目標	実績値 又は達成状況	内容				
38	アドバイザー派遣事業の実施	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、アドバイザーを派遣する。	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、アドバイザーを派遣する。		老人クラブを含む地域団体の活性化や、高齢者を含む住民の地域活動への関わり方といった地域課題の解決のためのアドバイザーの派遣依頼があったため、最適なアドバイザーを選定し、派遣した。	同左	B	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、老人クラブからの要望に応じてアドバイザーを派遣する体制を整えている。	市民活動推進課
17-2	老人クラブ活動への助成	老人クラブが実施するさまざまな活動に対し助成を行う。	助成校区率(生涯現役地域活動助成事業のうち、地域活動事業)	60%	40.4%	【老人クラブ活動助成事業】 社会奉仕活動、教養・文化活動、健康増進活動に助成 【老人クラブたすけあい運動推進事業】 子育て支援活動、地域見守り活動に助成 【生涯現役地域活動助成事業】 地域交流活動 対象:21校区 助成額:2,550,598 健康増進活動 対象:18校区 助成額:1,187,515	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったが、本事業参加者の満足度は高く、高齢者の生きがいづくり及び地域の住民や世代間の交流を促進することができている。	生涯現役推進室
39	老人クラブの加入促進活動への支援	老人クラブの加入促進活動を支援する。	会員数	43,000人	40,266人	姫路市老人クラブ連合会が実施する加入促進活動に対して資金面等で援助を行った。	B	老人クラブの解散に伴い会員数は減少したが、チラシやリーフレット配布によるPR活動や、活性化特別委員会の開催を支援できた。	生涯現役推進室
40	老人憩の家整備補助事業の実施	老人クラブの活動拠点を充実させるため、備品購入費を補助する。	補助申請率	90%	100%	老人憩の家の整備充実を図るため、備品購入費を補助した(1箇所につき20万円まで)。	A	目標と同数の補助を行うことができ、老人クラブ活動の活性化に資することができた。	生涯現役推進室

(3) 就業への支援【重点施策・役割就労事業】

① 就業機会の提供

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
41	高齢者の希望にあった多様な働き 方の促進	高齢者の雇用に積極的な事業所を認定し、就職支援サイト「JOB播磨」へ掲載し、高齢者と企業のマッチングを促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、シニア活躍事業所認定事業を開始した。	シニア活躍認定事業を開始した。 令和3年度認定事業所数 21事業所 JOB播磨共同運営する兵庫県中播磨県民センター、姫路経営者協会と、令和4年度以降に向けて構築する協議を行った。	A	就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、シニア活躍事業所認定事業を開始し、事業所を認定できた。また、シニア活躍事業所をJOB播磨に掲載する仕組み整備に向けて、協議を行った。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	生涯現役推進室 労働政策課	
42		ハローワーク等関係機関と連携しながら、高齢者の希望に合った多様な働き方を促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。		新型コロナウイルス感染症の影響により高齢者就職説明会は中止。		令和3年度は実施できなかったが、高齢者が希望に合った仕事とマッチングできるよう、ハローワークと連携していきたい。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。		労働政策課
43	シルバー人材センターへの支援	シルバー人材センター事業の活性化を支援するため、運営費等を助成する。	会員数	2,500人	2,211人	シルバー人材センター事業の活性化を支援するため、事業費等を助成した。	A	高齢者の就業機会の確保とその福祉の増進を図り、その能力を活かした活力ある地域づくり及び生涯現役社会の推進に寄与している。	2,500人	労働政策課

② 就業に関する相談等

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
44	姫路しごと支援センター、雇用アドバイザーの活用、雇用情報の提供	姫路しごと支援センターにおいて、就職に関する相談等の支援を行う。また、雇用アドバイザーによる雇用相談や求人情報の提供を行うとともに、弁護士や社会保険労務士による労働相談を行う。	相談件数	1,000件	1,167件	・キャリアカウンセラーによる就職に関する相談や、就職準備セミナー(18講座、各定員15名)及びパソコン講座(9講座、各定員20名)の実施ほか。	A	目標値を上回る件数の相談を受けることができ、十分な成果を上げることができた。	1,000件	労働政策課

③ 企業への働きかけ

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度)目標値 又は達成目標	担当課
			指標／目標値 又は達成目標	実績値 又は達成状況	内容				
45	高齢者の雇用に関する企業への働きかけ	定年の引上げや継続雇用、勤務体系の弾力化等、高齢者の雇用促進・雇用環境整備等の取組を企業に働きかける。	高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	定年の引上げや継続雇用、勤務体系の弾力化等、高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	・パンフレットの窓口配布 ・兵庫県雇用開発協会への支援 630千円 ・高齢者を対象とした国・県の雇用助成制度の周知	B	情報提供や雇用開発協会の各種活動を通じ、高齢者の雇用に関する企業への働きかけが実施できている。	高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	労働政策課
再掲	高齢者の希望にあった多様な働き方の促進 ※No.41再掲	高齢者の雇用に積極的な事業所を認定し、就職支援サイト「JOB播磨」へ掲載し、高齢者と企業のマッチングを促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、シニア活躍事業所認定事業を開始した。	シニア活躍認定事業を開始した。令和3年度認定事業所数 21事業所 JOB播磨共同運営する兵庫県中播磨県民センター、姫路経営者協会と、令和4年度以降に向けて構築する協議を行った。	A	就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、シニア活躍事業所認定事業を開始し、事業所を認定できた。また、シニア活躍事業所をJOB播磨に掲載する仕組み整備に向けて、協議を行った。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	生涯現役推進室 労働政策課

(4) 起業・開業への支援

① 起業・開業への支援

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
46	起業を支援する講座の充実	起業家を育成する創業・起業セミナーや起業家フォローアップセミナーを、関係機関と連携し開催する。	55歳以上の受講者数	15人	28人	・創業セミナーの開催 ・創業スタートアップセミナーの開催	A	55歳以上の受講者数が目標を達成し、満足度も高く、生涯現役の推進に一定の効果があったと思われる。	28人	産業振興課

3 学習・社会参加

(1) 学習活動の機会・場の充実【重点施策・学びの充実事業】

① 学習する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度)目標値 又は達成目標	担当課
			指標／目標値 又は達成目標	実績値 又は達成状況	内容			
47	シニアオープンカレッジの開催	概ね50歳以上の方を対象に市内の大学が開設する公開講座に対し支援する。	講座数	5講座	3講座	B	新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止や募集人数の抑制を行ったことで数値目標は達成できなかったものの、受講者アンケートでは、講義についての満足度は高く、9割以上が継続した受講を希望しているため、事業目的は概ね達したといえる。	企画政策推進室
48	生涯現役応援講座の開催	生涯現役をめざして自分らしくいきいきとした生活が送れるよう応援するための講座を開催する。	定員充足率	100%	98%	A	目標数値を達成することができた。また参加者の満足度も高かった。参加者が必要としている情報の提供や、社会問題について考えるきっかけづくりができ、最後まで自分らしく過ごすために必要なことについて学ぶことができた。	男女共同参画推進センター
49	高齢者消費者被害防止講座の開催	高齢者を対象にした市政出前講座を実施し、最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリングオフ制度などの知識を深めてもらい、消費者被害等の防止を図る。	講座回数	20回	19回	A	高齢者に出前講座等を通じて消費者被害の未然・拡大防止の啓発を実施出来た。	消費生活センター
50	農業体験研修事業の実施	農業の多様な担い手を育成する農業研修「ひめじ婦農塾」と、市政出前講座などを活用した栽培講座「ひめじ楽園塾」、また研修修了生から栽培指導ボランティア「ひめじアグリリーダー」を育成する。	受講者数	670人	1,579人	A	ひめじ楽園塾の全48回のうち、6回が好古園大学校関連の講座で、164名が受講された。市内各地域から好古園大学校生まで幅広く受け入れていることから生涯現役社会に貢献できていると思われる。	農業振興センター
51	市民教養講座の開催	歴史講座、現代社会講座を開催する。	受講者数	2,000人	1,877人	A	新型コロナウイルスの影響を受けたものの受講者数が多く、平均出席率もおおむね7割の水準にあることから、受講者の満足度が高いと思われる。	生涯学習課
52	公民館活動の充実	教養講座、地域講座、文化講座の充実を図る。	受講者数	480,000人	306,266人	B	地域の生活課題や生活文化に密着した講座、文学や歴史、高齢者対象の講座を企画・実施するなど、地域ニーズを把握し、学習機会を提供した。新型コロナウイルスの感染拡大を受けた緊急事態宣言やそれに伴う休館等が影響し、目標値には届かなかった。	生涯学習課

② 生涯学習大学校・好古学園大学校の充実

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
53	生涯学習大学校活動の充実	生涯学習大学校講座の充実を図る。	在籍者数	2,560人	1,908 人	本科 37講座 1年生 1,429 人 2年生 479 人 合計 1,908 人	B	換気に気をつけるなどコロナ対策も行ったうえで授業しており、満足度も高そう。	生涯学習大学校
54	好古学園大学校活動の充実	好古学園大学校講座の充実を図る。	在籍者数	1,625人	1,562人	新型コロナウイルスの影響により4月26日～5月31日休校 (1)専門講座 ・大学課程(4年):8学科・9教科13クラス ・大学院課程(2年):8学科・9教科13クラス (2)学年別教養講座 大学課程・大学院課程各学年1回計6回 (3)全学教養講座 年7回ほか	B	コロナ禍の中ではあったが、専門・教養講座の他、学園祭芸能発表会・作品展等の学校行事の実施やクラブ活動など、学生にとって充実した学園生活を送ることができた。	好古学園大学校

③ 展示会、発表会の開催

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
55	高齢者作品展の開催	60歳以上の市民による絵画、書、工芸等の作品展を開催する。	出展作品数	380点	305点	【開催期間】8月25日～8月29日 【会場】姫路市民ギャラリー(イーグレひめじ地下1階) 【来場者数】1,236人	A	新型コロナウイルスの影響により出展作品数が減少し、目標値は達成できなかったが、出展者や来場者の満足度は高く、継続開催への期待が大きい。	生涯現役推進室
56	高齢者芸能発表会の開催	60歳以上の市民グループによる音楽やダンス等の発表会を開催する。	出演グループ数	55グループ	24グループ	【開催日】令和4年2月15日(火) 【会場】アクリエひめじ中ホール【出演】24グループ 246人【演目】舞踊、体操、コーラス等	A	新型コロナウイルス感染拡大の影響や、校区老人クラブの解散などにより老人クラブの参加率が低下したが、参加者の満足度は高く、高齢者の日頃の趣味活動の成果を発揮できる場として機能しており目標を達成できた。	生涯現役推進室

(2) 学習活動に取り組む人への支援

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
再掲	生涯現役推進専門員の配置 ※No.27再掲	生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員を配置する。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えた。	・相談業務の実施(年間113件) ・情報の収集・発信 ・生涯現役人材バンクの運営	A	高齢者の多様なニーズに応えることに努め、本来の趣旨である高齢者の生涯現役に資することができた。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	生涯現役推進室

② 学習成果を生かす機会の提供

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況				内容
57	市民農園・レクリエーションファームの充実	市民農園・レクリエーションファームの充実を図る。	入園率	90%	83%	(1)市民農園 ・仁色ふるさと農園 入園率のアップ ※36%(73/202) イベントの実施 ※収穫体験事業(R3.10実施、46組参加) ・南恒屋ふれあい農園 入園率のアップ ※70%(71/101) イベント中止 ・林田チャレンジ農園 入園率のアップ ※100%(36/36) イベントの実施 (2)レクリエーションファーム ・開園数の維持 ※46園(協議会32 以外14) ・入園率(協議会)の維持 ※94.6%(872.7/922.5)	B 高齢を理由に市民農園及びレクリエーションファームの退園が増加しているが、広報やイベント開催を通じて、普段農業に親しみのない人が農業を楽しむ機会を設けることができた。。	90%	農政総務課
31-2	生涯現役人材バンクの設置	長年培った知識や経験、技術を持つ高齢者を登録し、その能力を求める市民とのマッチングを行う。	登録件数	145件	132件	・登録件数 132件 ・新規登録件数 4件 ・登録取消件数 1件	B 新型コロナウイルスの影響により目標値を達成できなかった。また、例年、PR活動の場であるひめじおんまつりの中止等により十分なPR活動を実施できなかった。	150件	生涯現役推進室

(3) 情報の活用

① 総合的な情報提供

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
58	インターネットによる情報提供	生涯現役に関する情報を総合的に提供するポータルサイト「生涯現役ネットひめじ」を運営する。	アクセス数	51,000件	69,977件	生涯現役に関する必要な情報を「生涯現役ネットひめじ」へ随時更新を行った。	A	一定のアクセス数があり、内容についても必要な情報を適宜更新し、生涯現役に関する情報提供ができたと考える。	54,000件	生涯現役推進室
59	啓発パンフレットによる情報提供	生涯現役に役立つ事業を紹介する冊子を作成し、配布する。	啓発冊子を多くの人に配布し、活用してもらうことにより、市民の生涯学習や社会参加が促進されている。	市民の生涯学習や社会参加が促進されるよう生涯現役に関する市の事業を紹介する冊子を配布した。	生涯現役応援ハンドブックの作成・配布(4,000部)		A	冊子を配布、活用してもらい、市民の生涯学習や社会参加を促した。	啓発冊子を多くの人に配布し、活用してもらうことにより、市民の生涯学習や社会参加が促進されている。	生涯現役推進室
60	コミュニティFM放送の活用	コミュニティFM放送を活用し、生涯現役に活躍する人の紹介や、生涯現役に関する情報を提供する。	出演回数	12回	12回	・コミュニティFM放送 「飛び出せ！まちの元気人」のゲストとして、毎月1回生涯現役な人を出演いただき、日頃の活動や生涯現役の秘訣を語ってもらった。(12回)	A	教養講座の講師や生涯現役で活躍する方々の活躍をラジオを通じて多くの市民の方に発示することができ、高齢者に対して生涯現役の意識啓発や健康増進について意識付けに資することができた。	12回	生涯現役推進室 生涯学習大学校 好古学園大学校

② 情報格差の解消

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
再掲	高齢者消費者被害防止講座の開催 ※No.49再掲	高齢者を対象にした市政出前講座を実施し、最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリングオフ制度などの知識を深めてもらい、消費者被害等の防止を図る。	講座回数	20回	19回	・最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリング・オフ制度等について出前講座を実施ほか	A	高齢者に出席講座等を通じて消費者被害の未然・拡大防止の啓発を実施出来た。	50回	消費生活センター
61	地域活動担い手パソコン講座の実施	地域活動担い手のためのパソコン講座を実施する。	受講者数	30人	23人	初心者のためのパソコン講座 12/20.21.22 3日間【受講者】23人	A	パソコンの便利な使い方・機能を習得いただき、満足度の高い評価を得た。	180人 (R3～R8累計)	生涯現役推進室

62	生涯学習大学のパソコン講座等の充実	生涯学習大学のパソコン講座等の充実を図る。	参加者数	216人	222人	・本科(基礎、応用、夜間基礎、夜間応用) 各30人 ・短期パソコン講座(入門、ワード、エクセル) 21人 30人 30人 ・パソコン指導者養成講座 11人 ・スマホ講座 40人	A	スマホ講座が無料でもあり人気が高かった。受講生の人数のアップにつながっている。	216人	生涯学習大学校
63	好古学園大学校スマホ講座等の開催	好古学園大学校の教養講座において、情報格差の解消に繋がる講座を開催する。	定員充足率	225人	248人	スマートフォン等が親しみやすくして便利な道具と感ぜられるような講座とし、基礎編と実践編を企画し実施する。 ・基礎編(1回) 7月16日参加者218人 ・実践編(2回) 10月11日参加者15人 10月18日 参加者15人	A	講師がパソコンやプロジェクターを用いて、高齢者にとってわかりやすい講義を行ったので、受講生が講座で学んだことは、すぐに実践・応用できたため。	80%	好古学園大学校
64	公民館デジタル・ディバイド対策講座の開催	公民館でデジタル・ディバイド対策講座を開催し、情報格差の解消に繋げる。	講座の実施回数	68回	102回	スマートフォン講座など含めて102回実施した	A	数値目標からして十分達成できたと考ええる。	68回	生涯学習課

(4) 社会参加への促進

① 交流する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度)目標値 又は達成目標	担当課
			指標/目標値 又は達成目標	実績値 又は達成状況	内容				
再掲	市民会館・地区市民センターの運営 ※No.10再掲	教養講座(健康づくり・音楽・芸術等)の開設や貸館業務など、地域のコミュニティ施設として、市民会館・地区市民センターを運営する。	利用率	0.55	0.526	各種教養講座のPRや指定管理者における自主事業の実施により、利用者数の確保に努めた。 また、外壁改修・大ホール床板改修(網干)や大ホール天井耐震改修(東)等により、快適で安全な施設整備を実施した。	B	目標数値を概ね達成することができた。また利用者の満足度も高かった。	生涯現役推進室
65	高齢者交流施設の運営	高齢者の教養向上、健康増進、レクリエーションのため、香寺いきがいセンター、家島宮老人の家他3施設を管掌する。	利用者数	11,000人	5,936人	利用件数及び利用者数 ・家島宮老人の家 27件 / 335人 ・家島坊野老人の家 35件 / 338人 ・家島真清老人の家 49件 / 865人 ・家島男鹿老人の家 33件 / 128人 ・香寺いきがいセンター 702件 / 4,270人 合計 846件 / 5,936人	B	全体としては、おおむね目標を達成することができた。	生涯現役推進室
66	老人福祉センター等の運営	高齢者の教養向上、健康増進、レクリエーションのため、老人福祉センター等を運営する。	利用者数(楽寿園、家島老人福祉センター、香寺健康福祉センター)	48,000人	31,719人	利用人数 【楽寿園】26,368人 【家島老人福祉センター】1,972人 【香寺健康福祉センター】3,379人	B	新型コロナウイルスの影響(休園等)により目標値は大きく下回ったものの、感染防止対策をし、校区登園や高齢者教室を実施するなど、健康の増進や教養の向上に資することができた。	生涯現役推進室 (楽寿園、家島老人福祉センター、香寺健康福祉センター)
67			利用者数(すこやかセンター(老人福祉センター))	77,000人	53,897人	・校区登園(登園日:117回・登園者数:4,010人) ・教養講座の開催(実施回数:117回) ・趣味の教室の開催(163回開催・登園者数:2,468人) ・図書の貸出(貸出冊数:127冊)	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館や教室の休止、校区登園の自粛等により、施設利用者数は目標値に届かなかったが、利用者の満足度は高い。	保健福祉政策課 (すこやかセンター(老人福祉センター))
68			利用者数(夢前福祉センター(老人福祉支援施設))	6,000人	2,447人	【利用実績】 (開館日数) 293日 (施設総利用者数) 36,023人 (老人福祉支援施設利用者数) 2,447人	B	新型コロナの影響により利用者が減少しているものの、施設において休止していたサービスプログラムを再開するなど、コロナ前の状況に戻りつつある。引き続き感染症対策に配慮しつつ、利用者回復に努めたい。	高齢者支援課 (夢前福祉センター(老人福祉支援室))

② 社会的孤立の防止と地域支え合い活動の推進

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況					内容
69	ひとり暮らし高齢者へのふれあい食事サービスの実施	地域の高齢者のふれあい・交流を深め孤独感を解消し、生きがいの高揚を図るため、昼食を提供する。	地域の高齢者の食生活が改善され、地域の人とのふれあい・交流が深まり、ひとり暮らし高齢者の孤独感が解消され、生きがいの高揚が実現されている。		ひとり暮らし高齢者の食生活の改善と孤独感の解消に寄与することができた。	【実施地区】88地区(3校区休止) 【実施回数】824回 【延参加人数】41,236人 【参加者数】4,837人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のための休止期間等あり。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により休止や会食から宅食への変更等により、計画どおりでないこともあったが、参加者からは好評を得ている。	地域の高齢者の食生活が改善され、地域の人とのふれあい・交流が深まり、ひとり暮らし高齢者の孤独感が解消され、生きがいの高揚が実現されている。	高齢者支援課
再掲	高齢者の自主的な健康づくり活動への支援 ※No.16再掲	「いきいき百歳体操」を住民に提案し、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動を実践できるよう支援する。	自主活動グループ数	いきいき百歳体操グループ数 495グループ	いきいき百歳体操グループ数 470グループ	介護予防に取り組む自主グループの立ち上げ・継続支援を実施した。	B	コロナ禍で活動が自粛される状況ではあったが、地域包括支援センターと保健センターが立ち上げ支援・継続支援に取り組んでおり、総合的に判断すると概ね目標は達成できた。	600グループ	地域包括支援課 保健所健康課
70	認知症サロンの充実	認知症の人であるか否かに関わらず、地域の高齢者が自由に通うことができる「認知症サロン」を支援する。	認知症サロン数	103グループ	93グループ	参加者に対し、フレイルチェック票やDASKを実施し、必要な市民には受診へ繋げる支援を行うことにより認知症の早期発見及び進行防止又は介護予防機能を付加できた。	B	コロナ禍の影響もあり目標値は達成できなかったが、地域包括支援センターの介入のもと各グループで工夫して認知症サロンを開催し、認知症の早期発見及び進行防止に向けた支援ができた。	118グループ	地域包括支援課
71	認知症サポーターの養成	地域や職域において認知症の人やその家族を支援する「認知症サポーター」を養成する。	認知症サポーター数	44,500人(累計)	44,139人	・認知症サポーター養成講座を計画しても、新型コロナウイルス感染症の流行状況によりキャンセルになることがあり、やや目標を下回った。	B	ステップアップ研修の開催方法の検討等一部取り組めていない内容があるため。	50,500人 (累計)	地域包括支援課
72	地域包括支援センターの充実	体の衰えや地域での暮らしに不安のある高齢者に対し、地域包括支援センターが相談・支援を行う。	地域包括ケアシステムの中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにマネジメントを行うことができている。		地域ケア個別会議を通して地域課題を抽出し関係者間で共有することができた。	地域ケア個別会議の開催 ケアマネジメント力向上会議 24回 地域支えあい会議 131回 自立支援ケア検討会議 17回 地域マネジメント会議 4回	B	地域包括ケアシステムの中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにマネジメントを行うことができている。	地域包括ケアシステムの中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにマネジメントを行うことができている。	地域包括支援課

③ 高齢者の外出促進

No.	事業名	事業概要	R3事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R8(後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
73	高齢者交通安全教室の開催	参加体験型の学習を通して、交通安全意識の向上を図る。	受講者数	6,510人	2,522人	【参加体験型の高齢者交通安全教室の実施】・開催時期：通年 ・開催場所：すこやかセンター、楽寿園ほか ・受講対象者：施設を利用される各校区の高齢者等	A	開催にあたっては、警察署及び交通安全協会と連携・協力しながら実施し、参加者に交通ルールの遵守と交通事故防止を再認識を促している。	6,600人	危機管理室
74	公共交通のバリアフリー化の推進	高齢者・障害者等に配慮した公共交通のバリアフリー化を推進する。	公共交通のバリアフリー化に要する費用の一部を助成することで、バリアフリー化を促進し、高齢者や障害者を含むすべての人が公共交通を容易に利用できるようになっている。		—	バス事業者がノンステップバスの購入を見送ったため、補助申請がなく、実績なしとなった。	B	令和3年度は、令和2年度に引き続き申請がなかったため補助を行わなかったものの、令和元年度までは毎年度計画どおり補助を行い、バリアフリー化を促進し、利用者の利便性向上を図れた。	公共交通のバリアフリー化に要する費用の一部を助成することで、バリアフリー化を促進し、高齢者や障害者を含むすべての人が公共交通を容易に利用できるようになっている。	保健福祉政策課
75	高齢者福祉優待カードの交付	65歳以上の市民を対象に、市内の11施設が無料になる優待カードを交付する。	延べ利用者数	82,000人	52,366人	【交付枚数】7,101枚 【延べ利用者数】52,366人	B	利用者減は新型コロナの影響が続いていると思われるが、満足度は一定程度得ていると思われるため、概ね達成できたと思われる。	83,000人	高齢者支援課
76	高齢者バス等優待乗車助成事業の実施	75歳以上の市民を対象に、バス、鉄道、船舶、タクシー(タクシーは要介護2から5の人のみ)のうち、いずれか1つの交通機関の優待乗車券を交付する。	事業を継続して実施することで、高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができる。		対象者への申請書の送付及び申請に基づいた優待乗車証等の交付を行い、高い交付率を維持することができた。	【交付実績】(令和4年3月31日現在) 対象者数 65,706人 交付者数 60,565人 バス 24,420人 鉄道 34,358人 船舶 663人 タクシー 1,124人 交付率 92.2%	A	交付率は90%を超えて安定している。高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができた。	事業を継続して実施することで、高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができる。	高齢者支援課